



みはし

10月号 No. 6
令和7年9月30日
さいたま市立三橋小学校



さいたま市 PR キャラクター

〈10月の生活目標〉

外で元気にあそぼう

涼しくなってきて外遊びにぴったりの気候です。
クラス遊びの約束なども確認したいですね。

本を読むことのよさ

校長 梶山 崇

10月に入ります。気温の高い日もありますが、朝晩の風はすずしく、秋を感じます。子どもたちも学習に運動にがんばっています。10月より運動会の練習に入ります。子どもたちの体調管理に気をつけてすすめていきます。

さて、本校の子どもたちですが、読書が大好きです。図書の時間を楽しみにしている子、空いた時間に読書をする子、休み時間に学校図書館に行くのを楽しみにしている子など、たくさんいます。私はどのジャンルの本もまずは好きになって読むことが大切だと思います。私のことを言えば、小学校低学年のときは「ひとまねこざるシリーズ」の本、小学校6年生のときは歴史の本をよく読みました。特に、6年生のときに読んだ鎌倉幕府初代将軍の本の中で、将軍が中学生の年齢から約20年間、敵側の監視のもとに置かれたことは小学生なりに考えさせられ、その後の将軍の見方に変化があったことは確かです。

本を読むことにより、文字から場面の情景や登場人物の気持ちを考えたりすることができます。自己の生き方を考えたり、自己の行動について振り返ったりするきっかけにもなります。責任のある立場になった今は、本からも学ぶことがとても多く、教育活動に採り入れたり、朝会等で話をしたりすることもあります。

本校では図書ボランティアさんが子どもたちに読み聞かせをしてくださっています。読み聞かせをしていただくことで、子どもたちに少しでも本に親しむことができるようになってほしいと思います。私も幼い頃、母に読み聞かせをしてもらったようです。正直言ってあまり覚えてなく、成人してから母に「お母さん、ぼくに読み聞かせをしてくれた？」と言ったところ、母の逆鱗に触れたようで、「覚えてないの？」と、ふだん温厚な母から怒られました。どうやら私は読み聞かせをしてもらうと寝てしまうことが多かったようです。

文部科学省は、今年度の全国学力・学習状況調査の結果の考察を発表しています。特に中学校の国語の記述式問題の正答率が低かったことに対し、「読書によって、学習指導要領が重視する『主体的・対話的で深い学び』を目指すことが、ひいては記述式への対応につながる」とし、学校図書館の活用や地域での読書推進を後押ししています。

近年は10月にはいっても暑い日がありますが、秋の夜長、子どもたちも読書をしたり、保護者のみなさまもお子さんに読み聞かせをしていただいたりなどいかがでしょうか？きっと子どもたちのよき思い出として子どもはいつまでも心に留めておいてくれると思います。10月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。

※学校だよりの内容の記載にあたり、全国学力・学習状況調査の考察が書かれた新聞記事を参考にしております。

★今月のみはし★

《土曜授業参観日がありました》

9月20日(土)の土曜授業参観には、たくさんの保護者の皆さまのご来校をいただきありがとうございました。

5・6年生を対象にスマホ安全教室が開かれました。近年急増しているSNSトラブルについて、事例をもとに安全な使用について学びました。ご家庭でもスマホの使用等の約束について改めて話し合ってみてください。



《自分と相手の「心のコップ」を想像しよう》

9月25日(木)には、スクールロイヤーさんのいじめについて考える出前授業が6年対象に開かれました。誰しもが「心のコップ」をもち、相手の心のコップに苦しみや悲しみをためてしまう行動はいじめにあたること、もしかしたら溢れる寸前かもしれない相手の心のコップを想像することや、コップが溢れないように軽くしてあげる声かけの大切さなどについて教えていただきました。これからの学校生活で意識してもらいたいと思います。



《またあした運動》

学校帰りに下級生に「また明日」や、地域の方に「今日もありがとうございました」の声かけをする『また明日運動』に取り組んでいます。タスキをかけている児童を見かけたら、ぜひ温かい挨拶をお願いします。



(↑ アイデアを出し合って工夫を重ねています。)

★お知らせとお願い★

《6年修学旅行の際の通学班について》

10月9日(木)10日(金)は6年生の修学旅行です。多くの通学班で班長が不在となりますので、代理を立てるか、付き添いや見守りをしていただきますようお願いいたします。